

富山県を代表する書家で、上市町にお住まいだった書家故・吉田帰雲氏の旧蔵書(書道関係の資料約200冊)を、令和元年度にご遺族からご寄贈いただきました。

主な資料は、「日本書学大系」(同朋舎出版)49冊、「古碑帖臨書精選」(日貿出版社)36冊、「集字墨場必携」(二玄社)15冊などで、書道を学ぶ上で参考になる資料の数々です。

寄贈資料の一部をガラスケースで展示いたします。

～吉田帰雲氏 略歴～

大正10(1921)年 滑川市生まれ。上市町在住。本名・正弘。

昭和19(1944)年 中央大学を卒業、兵役に従事。

21(1946)年 教職に就く。

23(1948)年 大平山濤氏に師事する。

30(1955)年 日本書道美術院展で特選を受賞。

31(1956)年 毎日書道展毎日賞を受賞。

38(1963)年 日展に初入選する。

39(1964)年 創玄書道会創立に参加、審査会員となる。

59(1984)年 毎日書道展審査会員、抱山社富山支部長となる。

61(1986)年 富山県書道連盟委員長となる。

平成元(1989)年 富山県教育委員会教育功労者表彰を受ける。

平成13(2001)年、7月7日永眠。享年79歳。

(「富山県書道人志 5」等より作成)